

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成22年12月16日(2010.12.16)

【公表番号】特表2010-507697(P2010-507697A)

【公表日】平成22年3月11日(2010.3.11)

【年通号数】公開・登録公報2010-010

【出願番号】特願2009-533785(P2009-533785)

【国際特許分類】

C 09 B 29/36 (2006.01)

C 08 K 5/42 (2006.01)

C 08 L 23/00 (2006.01)

【F I】

C 09 B 29/36 C L A Z

C 09 B 29/36 C S P

C 08 K 5/42

C 08 L 23/00

【手続補正書】

【提出日】平成22年10月15日(2010.10.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

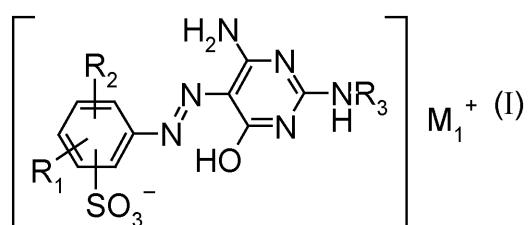
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

高分子量物質の原液着色の方法であって、式(I)：

【化22】



[式中、

M_1 は、H、 $1/2 \text{M}_2$ 、 $1/3 \text{M}_3$ 又は $\text{NR}_4\text{R}_5\text{R}_6\text{R}_7$ であり、

M_2 は、酸化状態IIのアルカリ土類金属若しくは遷移金属、又は酸化状態IVのオキソ-金属であり、

M_3 は、A1(III)、酸化状態IIIの遷移金属又は酸化状態Vのオキソ-金属であり、

R_1 は、H又は非イオン性置換基であり、

R_2 は、Hであるか、又は R_1 とは独立に、更なる非イオン性置換基であり、

R_3 は、H、 $\text{C}_1\text{-C}_6$ アルキル、フェニル、 $\text{CO-C}_1\text{-C}_6$ アルキル又は CO- フェニルであり、そして

R_4 、 R_5 、 R_6 及び R_7 は、それぞれ他と独立に、H、又はフェニル、ベンジル若しくは $\text{C}_1\text{-C}_6$ アルキル(これらは、非置換であるか、又はヒドロキシ若しくはハロゲンにより置換されていてもよく、そして $\text{C}_3\text{-C}_6$ アルキルの場合には、中断されていないか、又はOにより中断されている)である]で示される化合物又はその互変異性体を、成

形前又は成形中に高分子量物質に組み込む方法。

【請求項2】

M_2 が、 Ca、 Co、 Cu、 Fe、 Mg、 Mn、 Sr、 TiO、 Zn 又は ZrO であるか、あるいは M_3 が、 Al、 Ce、 Co、 Cr、 Fe 又は VO である、請求項 1 記載の方法。

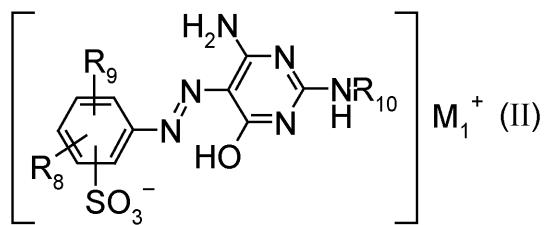
【請求項3】

R_1 が、-0.3 ~ -0.6 のパラHammett定数 ρ_p を有する非イオン性置換基であり、そして R_2 が、H、又は R_1 とは独立に、-0.3 ~ -0.6 のパラHammett定数 ρ_p を有する更なる非イオン性置換基である、請求項1又は2記載の方法。

【請求項4】

式(11)：

【化 2 3】



[式中、

M_1 は、 H 、 $1/2 M_2$ 、 $1/3 M_3$ 又は $N R_4 R_5 R_6 R_7$ であり、

M₂は、酸化状態IIのアルカリ土類金属若しくは遷移金属、又は酸化状態IVのオキソ-金属であり、

M₃は、A1(111)、酸化状態IIIの遷移金属又は酸化状態Vのオキソ-金属であり、

R₈ は、-0.3~0.6 のパラHammett定数を有する非イオン性置換基であり、

R_9 は、H であるか、又は R_8 とは独立に有する、更なる非イオン性置換基であり、

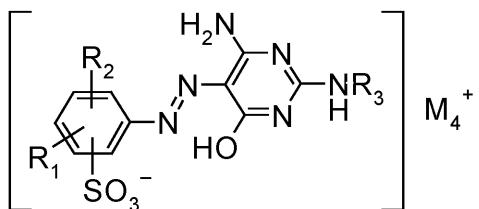
R_{1-10} は、H、 C_1-C_6 アルキル、フェニル、 $CO-C_1-C_6$ アルキル又は CO -フェニルであり、そして

R_4 、 R_5 、 R_6 及び R_7 は、それぞれ他と独立に、H、又はフェニル、ベンジル若しくは $C_1 - C_6$ アルキル（これらは、非置換であるか、又はヒドロキシ若しくはハロゲンにより置換されていてもよく、そして $C_3 - C_6$ アルキルの場合には、中断されていないか、又はOにより中断されている）である]で示される化合物又はその互変異性体。

【請求項5】

請求項 4 記載の化合物及び下記式：

【化 2 6】



[式中、

M_4^+ は、 Na^+ 、 Li^+ 又は K^+ であり、そして R_1 、 R_2 及び R_3 は、請求項 1 と同義である]で示される化合物を含む、混合物又は固溶体。

【請求項 6】

総着色高分子量物質に基づいて、0.01~7.0重量%の請求項1~4のいずれか1項

記載の式(Ⅰ)若しくは(Ⅱ)の化合物、又は請求項5記載の混合物若しくは固溶体を含む(高分子量物質中に分布した固体粒子の形で存在するか、又は溶解した形で高分子量物質に均質に浸透している)、原液着色された高分子量物質。